

北海道で高病原性鳥インフルエンザ発生！ (国内6例目、北海道2例目)



【6例目 農場概要】

所在地：北海道伊達市

飼養状況：肉用鶏（約15万羽）

【経緯】

- (1) 11月6日、農場から死亡鶏増加の通報を受け、当該農場へ移動自粛要請するとともに立入検査を実施。
- (2) 鳥インフルエンザの簡易検査を実施し、陽性判明。
- (3) 11月7日、遺伝子検査の結果、疑似患畜であることを確認。

ウイルス侵入防止のため、対策の再確認再徹底をお願いします！

- ☆ 衣服や長靴の交換、車両の消毒、防鳥ネットの破れがないか、施設と手順の確認をお願いします。
- ☆ 鶏舎周囲、衛生管理区域周囲に石灰散布をするなど、適切な消毒を実施してください。

いつもと様子が違う時は、早期の通報をお願いします

1日の死亡率が前21日平均の2倍以上



家畜保健衛生所にご連絡ください

(その他、下記のような場合もご連絡ください)

- ・5羽以上の鶏がまとまってうずくまっている、死んでいる
- ・脚部の皮下出血、肉垂の出血・壊死、突然の沈うつといった症状が見られる

中濃家畜保健衛生所(高病原性鳥インフルエンザ相談窓口)

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください

つながらない場合は 0574-25-3484 へ。土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています。